



学校だより

令和 7 年度 9 月号

東京都立町田の丘学園校長

<http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp/>

令和 7 年 9 月 1 日発行

その時のための心構え ～防災教育講演会から～

生活指導部主幹 芋川恵美子

7 月末の「ロシア・カムチャツカ半島」の地震の時には、津波警報の発令で、海沿いを走る電車が止まり、影響を受けた保護者の方もいらっしまったのではないのでしょうか。

地震、火事、台風・・・災害はいつもどこかで起こっており、私たちの周りで、いつ起こるかも分かりません。児童・生徒の命を守るべき私たち教職員は、その時に「どのように判断するか」いつも問われていることになります。

7 月 25 日（金）全校教職員を対象に「防災教育講演会」を、国士舘大学の石崎助教授、浅倉講師を招いて実施しました。

講演会の前半は、災害全般に関することの講義がありました。「首都直下型地震はこの 30 年で 70% の確率で起こること」「南海トラフ地震も 30 年以内に起こる確率が 80% まで引き上げられたこと」「いずれも想像を絶する被害規模になること」、本校が「障がい者福祉施設」として、災害時要配慮者二次避難施設（指定福祉避難所）に町田市から指定されており、児童・生徒を安全に家族にお引渡しするだけでなく、「障がい者福祉施設」として避難者を受け入れることや避難所としての役割についての内容でした。

後半は、教職員がグループに分かれ「火事になったときに、どのルートで避難するか」について、拡大校内図を囲み、いくつかの火災想定場所を設定してグループワークを行いました。避難ルートについて、「絶対の正解はない」と講師の先生がお話しており、その時の状況を、教員が的確に把握、判断し、最適なルートを一人一人の教員自身が考える大切さについて学びました。

本校では、月 1 回の避難訓練、さらには 9 月 12(金)13 日(土)には、高等部 1 年生を対象に「宿泊防災訓練」があります。講演会でも実際の避難訓練が、災害時の避難行動に影響が大きいとの話がありました。実体験を通して、教員、児童・生徒ともに「その時のための心構え」を培っていきたいと思っています。



国士舘大学 石崎助教授の講義



「避難経路を考える」グループワーク

～A小プールの様子～

水泳学習を6月17日より4回、また夏季休暇中に1回、実施することができました。保護者の皆様におかれましては、入水前後の体調の管理はじめ、カード記入や水着準備等に御協力くださり、誠にありがとうございました。水泳学習当初は、久しぶりのまたは初めてのプールで、ドキドキする様子もありましたが、水に入ると、明るい表情が広がり、歓声があがりました。プールでは、それぞれの児童に合ったペースと内容で水に親しみ、学習を行いました。水温や浮力を感じたり、水流に身をまかせ身体の力を抜いたり、浮き具を用いて浮いてみたり、水中歩行やリング拾いなどに取り組みました。水に顔をつけたり、潜ったり、自分で浮くことができた児童もいました。徐々に水に慣れていき、一緒にいる教員との関係性も深めながら、活動の幅を広げていく様子が印象的でした。浮力や水の抵抗を感じながら、緊張を緩めたり、自分の身体を普段よりも自由に動かしたりすることができ、プールの楽しさと意義を感じる時間となりました。



～A中プールの様子～

A部門中学部は、6月3日から水泳学習が始まりました。水泳学習のねらいである「水に慣れ、水の中で体を動かす楽しさを知る」や「興味・関心を広げ、心身の健康増進を図る」ための安全な学習の展開に努めてまいりました。

中学部では、入水基準が満たず延期が続いていましたが、その後、天候の回復とともに計3回の実施となりました。事前学習をはじめ、生徒一人一人が目標の達成に向けて教職員と共に主体的に学習に取り組みました。水泳学習の中で、「水に顔をつけることができた」「浮き具を使い、自分の好きな活動を見つることができた」などの多くの「できた」を経験することができました。

生徒の「できた」喜びや達成感を大切にするとともに、今後の活動に活かしていきます。



～A高プールの様子～

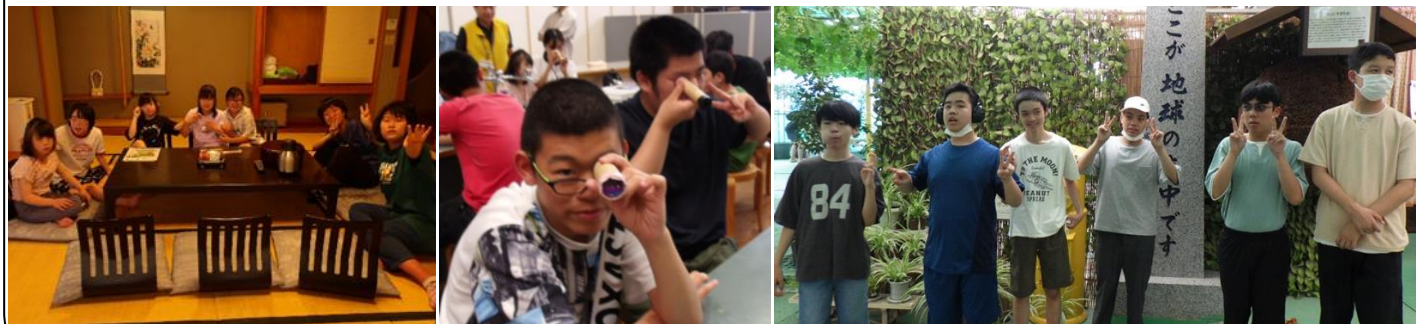
A部門高等部は、水泳学習3回、夏季プール1回合計4回実施することができました。授業前半は、水泳基本動作と音楽にのって楽しくみんなで踊るなど笑顔いっぱいで行い、後半は各自「水に慣れる」「水の中でリラックスをして浮くことができる」「顔をつけて体をのぼす」「25メートル泳ぎ切る」など一人一人の目標に向かって頑張り、達成感で満ち溢れていました。水の中ではいつもより緊張がほぐれて、自由な体の動きができる喜びを実感できており、どの生徒も満面の笑みがみられました。今後、水泳学習で身に付けたリラックス方法や身体の使い方を普段の生活にも生かすことができると良いと思います。



～B中3年 修学旅行～

7月10日・11日、修学旅行で山梨県方面に行きました。両日とも蒸し暑さを感じる中でしたが、どの活動も楽しんでいる様子が多く見られました。1日目には、山梨県立科学館へ行き、学年全員で実験工作をして万華鏡を作成やプラネタリウムを観ました。おやつにソフトクリームを食べるクラスもありました。様々な体験活動をした後、『石和びゅーほてる』というホテルに宿泊しに行きました。大きな露天風呂や豪華な食事に喜んでいました。各々の部屋でも交流を深めながら楽しめました。2日目には、御坂農園グレープハウスという農園に行き、桃狩りとほうとう作り体験をしました。作ったほうとうは、みんなで美味しく食べました。

中学部として初めての宿泊体験でしたが、充実したとても良い旅行となりました。保護者の皆様には、事前学習の段階から当日まで様々なことに御協力していただきありがとうございました。



～部活動紹介～

【A スポ】

A部門スポーツ部では、5月末の第26回東京都障害者陸上競技大会に向けて新しいグラウンドで練習に励み、2名が入賞しました。7月にはボッチャ交流試合「第2回CIAOカップ」に参加し、競技の楽しさや仲間とのつながりを深めました。さらに、多摩桜の丘学園との合同練習も行い、笑顔あふれる交流の時間となりました。保護者の皆様のご支援に感謝申し上げます。



【合唱部】

合唱部、今年の最初のステージは7月25日のNHK全国学校音楽コンクール(府中の森芸術劇場大ホール)で演奏しました。本番は緊張しながらも堂々と歌い切り、審査員の先生からは「皆さんの歌がとても好きだという心が伝わってくる演奏でした」とお褒めをいただきました。2学期には訪問演奏と町田市合唱祭出演(11/9(日)町田市民ホール・入場無料)があります。ぜひ、聴きにいらしてください。

